

科目名	人文学講読演習Ⅳ 1－4					単位	2.0
担当教員	小久保 嘉紀						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	3225

●授業のテーマ  
日本史史料演習Ⅱ

●到達目標

前期（日本史史料演習Ⅰ）に引き続き、各時代の史料から歴史上の人物や事件の実態を問い直していく。後期からの受講でも可とする。

なお、後期で対象とする時代は、織豊期から近代まで。

●学習内容(授業概要)

受講生がそれぞれ割りあてられた部分について発表する演習形式とする。ただし、最初から演習発表をするわけではなく、次のようなステップを踏んで発表へと至りたい。

- ①史料についての基礎知識
- ②史料の読み下し
- ③史料の読み下し＋現代語訳
- ④演習発表

なお、毎回授業の最後に、授業のまとめと感想を書いて提出することで出席にするため、自分が発表する回でなくても、注意深く発表者の発表を聞いてもらいたい。

●学習内容(授業計画)

≪後期≫

1. オリエンテーション
2. 近世・近現代史料学
3. 織田信長とその史料①
4. 織田信長とその史料②
5. 史料からみる本能寺の変
6. 豊臣秀吉とその史料①
7. 豊臣秀吉とその史料②
8. 江戸時代とその史料①
9. 江戸時代とその史料②
10. 明治時代とその史料
11. 大正時代とその史料
12. 演習発表①
13. 演習発表②
14. 演習発表③
15. 演習発表④

●準備学習・事後学習の内容

自分が担当する部分の演習準備はもちろん、自分が担当する以外の部分もあらかじめ目を通してこ

と。

●成績評価方法・基準

演習発表（40%）＋レポート（30%）＋平常点（30%）

●テキスト（必携）

- ・『日本史史料 3 近世』（岩波書店）
- ・『日本史史料 4 近代』（岩波書店）
- ・『日本史史料 5 現代』（岩波書店） など

※テキストはコピーして配布する。

●参考文献／その他

●履修上の注意

高校で日本史を履修していない者や、留学生で初めて日本史を学ぶ者も受講可能だが、各自で補う努力はすること。また当然のことながら、演習発表ではコピー厳禁。